

募集要項

- 1 募金の名称 大手前学園創立70周年記念募金
- 2 募金の目的 大手前学園奨学資金の調達
- 3 募金目標額 1.5億円
- 4 募集の期間 平成26年4月～平成29年3月(3ヵ年)
- 5 募金の種類 個人及び法人
- 個人 1口 5千円
*金額にかかわらず有難くお受けいたします。
- 法人 1口 5万円
(なるべく2口以上のご協力をお願いします)
- 6 募集対象 在校生の保護者、教職員、同窓生、
学園関係者、団体・法人、一般有志など

お問い合わせ先

学校法人 **大手前学園**

創立70周年記念事業事務局

〒662-8552 西宮市御茶家所町6-42

Tel 0798-32-7560

Fax 0798-32-7526

URL: <http://www.otemae.ac.jp>



創立70周年
記念事業

総合募金趣意書



大手前学園

大手前大学 | 大手前短期大学
大手前栄養学院 | 大手前製菓学院

募金協力をお願い

第二次世界大戦後の1946年4月、大阪城大手前に「大手前文化学院」として洋々たる未来に向けて発足しました大手前学園は、現在大手前大学、大手前短期大学、大手前栄養学院、大手前製菓学院という4つの学校に成長しています。2年後の2016年には学園創立70周年に当たり、大手前大学は50周年、大手前大学大学院は20周年を迎えます。

この記念すべき年を迎えるにあたり、大手前学園はその記念として、

- ①教育・研究・学生活動の支援事業
- ②施設設備の環境整備事業
- ③地域及び社会貢献事業

を展開していくことを決定しました。

さくら夙川キャンパスにおける校舎の整備・充実、eラーニング教育の充実、グローバル化の推進、大手前学園奨学金の拡充など今後の学問の発展に欠かせない事業を推進して参ります。とりわけ、大手前学園奨学金の拡充は喫緊の課題であり、優秀な学生の確保・育成のために必要不可欠な事業です。

この事業をぶじ遺憾なく達成するためには、法人や学園の教職員はもちろん、保護者の方々や50,559名の同窓生(平成26年3月現在の)の皆様のご援助がぜひとも必要です。

70周年記念事業を成功させ、ひいては100周年に向けて学園のさらなる飛躍を実現するため、このたび学園の関係者・支援者の方々のご理解とご協力のもとに、本募金活動を行いたく存じます。

上記の趣旨にご賛同いただき、学園の発展のため温かいご寄進を賜りたく、衷心よりお願い申し上げます。

2014年3月

70周年記念募金委員会委員長・大手前学園理事長	福井 要
筆頭副委員長・大手前学園理事	廣瀬 努
副委員長・大手前大学学長	柏木 隆雄
副委員長・大手前短期大学学長	福井 洋子
大手前大学同窓会会長	土井 芳美
双葉会(大手前短期大学同窓会)会長	水野 明子
若葉会(大手前栄養学院同窓会)会長	栗田 晴美

ご挨拶

西暦2016年、本学園は創立70周年、ならびに大手前大学50周年、大手前大学大学院20周年を迎えます。また、2015年は大手前栄養学院の60周年、さらに2017年には大手前製菓学院の20周年にもあたります。この様に大手前学園は4つの学校が高等教育機関としてそれぞれの特徴を活かし、建学の精神「STUDY FOR LIFE」のもと、社会に貢献できる人材の育成にいささか貢献してきたと自負しております。

本年、大手前大学では、社会のグローバル化に対応した英語教育改革の必要性に応え、国際教育インスティテュート（IIE）を立ち上げます。従来から実績のある英語授業LEOに加えグローバルジャパンスターディーズ（GJS）、グローバルビジネススターディーズ（GBS）、米国大学編入学・卒業プログラム（Transfer Program）等を充実し、「実践英語がうまくなる大手前」としてグローバル社会で活躍できる人材育成を目指すことになりました。

また、グランフロント大阪ナレッジキャピタルの「大手前大学スイーツ・ラボ」では、宮崎県との官学連携のもと宮崎名産きんかん「たまたま」や日向夏をつかったチョコレートやスイーツを開発販売しました。加えて、関西の有力菓子店との連携、海外の著名なパティシエの招聘、神戸スイーツ学会における大手前大学生の研究発表、さらには大手前栄養学院・大手前製菓学院との共同研究（栄養士・管理栄養士のためのヘルシー・ベジタブルスイーツの開発）等、スイーツの情報発信基地としてその機能をますます充実させています。

2009年には、大手前大学に通信教育課程を立ち上げ、先進的なeラーニングを主体として生涯教育の場を提供しましたが、今話題のJMOCでも東京、慶應、早稲田、北海道等錚々たる大学に続いて2014年8月には大手前大学前学長・名誉教授、川本皓剛先生による「俳句一十七文字の世界」が登場します。大手前大学通信教育課程のeラーニング技術を使っただけの魅力溢れる授業を無料で受講できますので、是非ご覧ください。

創立70周年の記念すべき節目を迎え、大手前大学、大手前短期大学そして大手前専門学校はさらにその連携を深めて、真摯に教育研究・学生支援・環境整備・地域連携・社会貢献に取り組んでまいります。今後共私共教職員一同、学園の更なる発展に向けて、一層の努力を重ねていく所存ですので、温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2014年3月

学校法人 大手前学園 理事長
福井 要

学園創立70周年記念事業計画 大学創立50周年記念事業計画

学園創立70周年および大学創立50周年記念事業推進計画を目指して、教育・研究の改革を進めて参ります。

1 教育・研究・学生活動の支援事業

- ① 現代的ニーズに対応した教育改革
- ② eラーニング教育の充実
- ③ 学生活動への支援(奨学金の拡充等)

2 施設設備の環境整備事業

- ① さくら夙川キャンパス校舎の設備・充実
- ② エコ関連設備の整備

3 地域及び社会貢献事業

- ① 第五回「行列のできる特別講演会」
- ② 世界考古学大会関連フォーラム
- ③ 大手前大学ゆかりの漫画家展

4 記念式典事業

- ① 記念式典
- ② 大学・短期大学・専門学校連合同窓会

5 創立70周年記念募金

記念事業所要資金：20億円
募金目標額：1.5億円
募金の期間：2014年4月～2017年3月

申込・払込方法

1. 払込方法 同封の「払込取扱書(振込通知書)」は、寄付申込書を兼ねております。必要事項をご記入の上、銀行または郵便局にてお振込みください。なお、次の指定銀行および郵便局をご利用いただきますと、手数料は学園が負担いたします。
2. 指定払込先 三井住友銀行、三菱東京UFJ銀行、郵便局
3. 領収書 「郵便為替払込金受領書」が領収書となります。減免措置手続きにも必要となりますので、大切に保存してください。
4. 顕彰 ご寄付を賜りました方には、「寄付者芳名録」に記載し、後日送付させていただきますとともに、学園広報誌「ウインズ」にも掲載させていただきます。
なお、記載の有無につきましては、「振込取扱票(振込通知書)」の該当欄をご覧になりご記入をお願いいたします。

また、大口の寄付を賜りました方には、さくら夙川キャンパス校舎の銘板(法人30万円、個人10万円以上)にその名を刻させていただくとともに、感謝状(法人20万円、個人5万円以上)を学園より送付させていただきます。

寄付金減免措置について

大手前学園にご寄付いただいた場合、減免税措置(寄付金控除)がうけられます。

1. 寄付者が個人の場合

2011年度税制改正により、新たに「税額控除制度」の適用が受けられるようになりました。寄付者の皆様は「税額控除制度」と既存の「所得控除制度」のいずれか一方を選択して、確定申告を行うことで優遇措置を受けることができます。

「税額控除制度」

(年間の寄付金合計額※1 - 2千円) × 40% = 寄付金控除額※2

計算式で出た寄付金控除額を所得税額から控除

※1 年間総所得金額等の40%を限度とする。

※2 所得税額の25%を限度とする。

「所得控除制度」

(年間の寄付金合計額※1 - 2千円) = 寄付金控除額

計算式で出た寄付金控除額を課税所得金額等から控除

※1 年間総所得金額等の40%を限度とする。

減免税措置を受ける手続き

ご寄付いただいた翌年の確定申告期間中に以下の必要書類を添えて、所管税務署にご提出ください。

①「郵便振替払込金受領書」(領収書)

寄付金払込時に金融機関より受領されます。

②寄付金控除に係る証明書

③寄付金領収証

※入金確認された後、学園より②③をご送付いたします。

2. 寄付者が法人の場合

会社等からのご寄付については、「法人用寄付申込書」をお送りしますのでお手数ですが、ご連絡願います。尚、法人からの寄付金は受配者指定寄付金(寄付金の全額を損金に算入することことが可能)のお取り扱いとなります。